『幼稚園の現場から』

13・「日除けの作り方」

原町幼稚園(静岡県沼津市) 園長 鶴谷主一

紫外線から子ど もたちを守る!

幼稚園園長の仕事は、デスクワークが多いのですが、ウチのように小規模の園では「なんでも屋」のように仕事をしています。経費節約は使命でもありますが、いろいろ工夫するのが好きな私は、フィールドワークも好きです。子どもたちとふれ合う時間がなかなか取れないのが残念ですが、担任の保育者では手が回らない園内の営繕や環境整備、いわゆる裏方作業も時間をとって行います。



オゾンホールの破壊、温暖化などで、これからの季節は子どもたちを有害な紫外線から守らなければなりません。数年前は珍しかった、首の後ろに日除けが付いた帽子もいまでは普通です。

これから暑い季節になりますので、子どもたち の外遊びを保証しつつ紫外線を防ぐために、園庭 に日除けを設置しています。 園庭の日除けは、保育関連備品を扱う業者もこのところ力を入れてきて、品数も増えてきましたが、コストと広さが(経費をかけられない園には)折り合いません。お金をかけた割には狭い範囲しかカバーできないのです。

以前私共が使用していた日除けテントは2畳ほどの広さで約15万円。シートだけを発注しても 1.5m×4.5mの遮光率80%のポリエステルメッシュ 製のシートで約2万円。しかも2kgと重量もあります。重量があるということは、設置にも丈夫な柱やロープを使わなくてはならないので素人の手に余る仕事になってしまいます。業者に頼むと、ちいさくても数万円、広い範囲になると数十万円の軽費を見なければならないでしょう。

そこで!私がホームセンターを歩き回って見つけた、農業用の資材を使った「軽くて安くて簡単に作れる日除け」のご紹介をします!ぜひ、皆さんの施設や家庭でも活用して子どもたちを夏の暑い日差しから守ってあげてほしいと思います。

まず、完成を見て下さい

園庭に張られた6枚の日除けです。

遮光率60%、大きさは2m×6.5mが6枚。張り方が アバウトなので隙間ができていますが、約78㎡を カバーしています。昨シーズンは、7~9月の約 3ヶ月常時設置したままで破れもせずに持ちまし たので、今年で2シーズン目の使用となります。 但し、台風が来たときは外して丸めておきました。



次の写真は視点を変えて2階から見たところです。ロープは2階のベランダの手すりと園庭の樹木に結び付けてあります。



次は屋上のプール上に張った3枚(奥の白いネット)ですが、こちらは海から吹く強風のため破れるので1年ごとに取り替えます。ちなみに、この3枚の材料費は8千円程度、作業時間は約1時間です。白いネットを使う前は、業者製のUVカットメッシュシートを3枚(約15万円)使っていましたが、3年でダメになったばかりか、重さがあったため、強風に引っ張られて鉄柱が曲がってしまうというダメージもありました。



では、作り方の説明です。

《1》材料リスト

材料はいずれもホームセンターで手に入ります。 主に農業用の道具売り場にあります。 (価格は私が購入したもので販売店によって多少違うと思います)

材料①遮光ネット

農業用の黒いネットは以前からあったのですが、 白が発売されたおかげで幼稚園の庭にも雰囲気 良く使えるようになりました。(白が置いてある 店は少ないかもしれません)

製品名「クールホワイト」

(2m×20mのロール/\\ 6,980円)

材料②蝶型パンチ

遮光ネットと一緒に売られています。 ネットを竹に通すために必ず必要なものです。

●ネット1枚に12個以上必要です。

(100個入り/¥1,280)

材料③結束バンド

電気工事コーナーによく置いてあります。15cm以上のものが良いでしょう。

蝶型パンチと竹棒をつなぐために使います。

●ネット1枚に12本以上必要です。 (100本入り/¥200~300)

材料④さらし竹

ネットは2メートル幅ですが多少伸びるので、ピンと張るために3メートルのさらし竹を準備します。

●ネット1枚に両側2本必要です。(3m1本/¥100)

材料⑤ロープ

いちばんのオススメは、防鳥網専用という3m程 度のポリエチレン製のロープが丈夫で、ほどきや すく安価です。50mで200円程度だったと思いま すが、なかなか売ってないので太さ3m程度の硬 めのナイロンロープがオススメです。

材料は以上です。

①②はダイオ化成株式会社という農業資材メ ーカー製です。お近くのホームセンターにな い場合は参考までに。http://www.dionet.jp/

使う道具は、

「のこぎり、メジャー、ハサミ」 そして設置の時に脚立が必要になります。



《参考:材料画像》

さらし竹3m (なるべく太いものを購入)





蝶型パンチ



によって数 種類有り

色や遮光率

残念ながら メーカーがわ かりません



ダイオ化成株式会社

東京都中央区明石町8番1号



使用上のご注意 * 本来の目的以外にはお使いに ならないでください。 * 火気・蒸湿になる場所でのご 使用はおやめください。

《2》作り方

手順①ネットの長さを決める

ネットを張る場所に合わせてネットの長さを 決めてハサミで切ります。

手順②さらし竹を切る

両端が出ても構わないなら切る必要はありません。細い方を切り落とし、約2.5mにします。





手順③ネットを竹に付ける

ネットの端を折り曲げ、蝶型パンチで挟み、結束バンドで竹に取り付けます。6個程度で大丈夫ですが、耐久性をよくするためには蝶型パンチを増やすと良いでしょう。

◆先に蝶型パンチを付けてしまいます



◆結束バンドでパンチを竹に付けます。

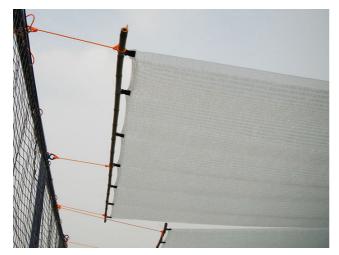


手順④竹の両端にロープを結ん で設置

完成したネットの竹の両端にロープを結び付け、設置する場所に結び付けていきます。 ちょうど良いところに結ぶところが無ければ 業者さんに依頼してポールや樹木を立ててお くと毎年使えます。



★慣れれば、2人で製作から設置まで 1 枚30分程 度でできます。



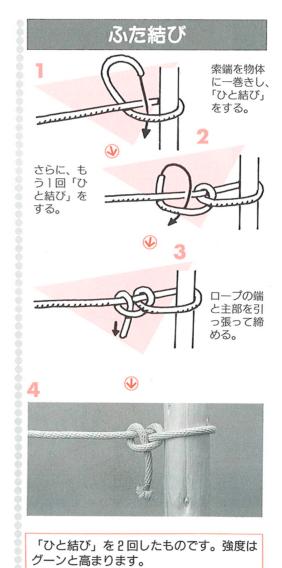
設置は、竹の棒とくくりつけるものとの間があい ていても構いません。ロープで調節します。

地面と平行に上空に設置するだけでなく、西日 を防止するための「すだれ」タイプとしても有効 です。

園の職員での作業が難しければ、保護者のお父さんや便利屋さんなどに方法を伝えてやってもらうのも一案ですね。今年の夏も暑さが厳しいそうです、「日差しがねえ~」とお困りだった皆さん、ぜひお試し下さい。



最後に、ロープの結び方ですが、図のふた結びが 便利です。緩むときは、ふた結びをもう一度繰り 返しておきます。参考にしてみて下さい。



参考「イラストでわかるひもとロープの結び方百科」

小暮幹雄著 新星出版社



ツルヤシュイチ

(幼稚園勤務30年/うち園長11年目)

http://www.haramachi-ki.jp